

HACHIMAN
Kawara-ban
HONOBONO-Tsūshin

八幡通信

八幡 瓦 かわら 版
2005.vol.29

発行 / 特定非営利活動法人秀次倶楽部

秀次公ゆかりのお寺

慈舟山・瑞泉寺

中川龍晃住職



皆さま、明けましておめでとうございます。旧年中は秀次倶楽部の活動に多大のご理解、協力を頂き厚く御礼申し上げます。秀次公の事績を明らかにすることを通じて、よりよい町まちづくり、環境づくりを実現させるのが私たちの願いです。歩みは遅くとも、本年も着実に前進して参ります。

仄仄通信ゆかりのお寺訪問は今回が三回目となりました。訪れた瑞泉寺は京都・三条大橋西詰を西へ少し行った木屋町通三条下ルの場所にあります。門前に高瀬川が流れ、お寺の裏手が鴨川の三条河原に通じています。この場所こそ、まさに秀次公御族の女性と若君たち三十九人が悲劇的な最後を遂げられた場所であり、その菩提所になっているのが瑞泉寺なのです。

江戸時代初期までの洛中図絵の類には必ずといっていいほど三条河原に立つ四角錐型の塚が描かれています。塚は御族の遺骸を埋めた跡に築かれたのですが、後に荒れ果てました。



▲秀次公一族の墓

悲劇から十六年後の慶長十六年(1611)、高瀬川を開削した角倉了以が、荒廃を目にして心を傷め、浄土宗西山派の立空桂叔和尚とともに二帯を墓所として整理したのが瑞泉寺を建立しました。

二十二代目になる中川住職は、菩提寺の当主として当然とはいえず秀次公への思い入れがことのほか深い方でした。世上に蔓延する、殺生閻白の誤解、曲解を解消するためなら、あらゆる努力を惜しまないという熱気が、話を聞いている我々にもひしひしと伝わってきました。近江八幡にも親しい気持ちを持っておられ、秀次倶楽部にとって、このうえもない強い味方に出会えた思いがしました。

中川住職はまた、実に博識な方で、秀次公の事績についても歴史家が知らないような新事実や解釈をたくさん披露して下さいました。

三条河原で切られた妻妾がたの中にはキリシタンではなかったかと、推定される人(お辰の前)や、出身地の宝塚市でいまも悲劇が語り継がれ地元で時代祭にも毎年登場する人(お龜

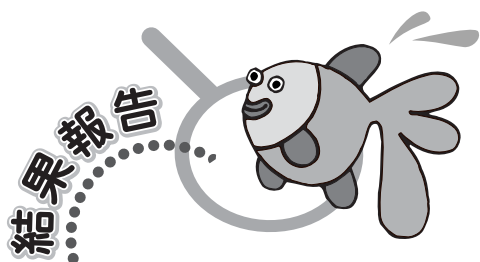
謹賀新年

今年も、八幡瓦版仄仄通信を「愛読いただきますよう」
よろしく願い申し上げます

平成十七年 元旦



秀次倶楽部



報告
歌
架

の前)もあるそうです。いろいろ聞いて結局、いま我々にとって問題とすべきは、秀次公(切腹)事件とは何だったのか」という点に収斂することがわかりました。

戦国時代末期の最大の政治事件でありながら、不当にも歴史から抹消されている出来事に、もう一度光を当てなければなりません。秀次公の真実はそこから見えてくるはずですが、真実を探る努力が欠かせません。市民の皆様がたにも深い関心をもって頂き、わかつた情報があればぜひお知らせ下さい。秀次公再評価の世論を喚起するための、良いアイデアもお待ちしております。

瑞泉寺は平成二十二年が開基四百年に当たります。私たちは、お寺との絆をより深め、記念の年に向けた秀次公顕彰の諸行事にも協力したいと考えています。境内には秀次公と御一族のお墓はもろろ中川住職が丹念精緻に作りあげられた御一族の御影や資料が多数展示されています。

交通至便の地でもあり、ぜひ一度参詣されますよう御案内申し上げます。

(井戸洋)



全国金魚すくい大会

大人も子供も白熱した滋賀予選大会。

毎年恒例となった全国金魚すくい大会滋賀予選大会が昨年7月3日にウエルサンピア滋賀で行われました。(主催/ウエルサンピア滋賀・秀次倶楽部・喜兵衛塾 後援/社)近江八幡観光物産協会(財)ハトランド推進財団・秀次のまちづくり(学)ぶ連絡会)

お天気にも恵まれたたくさんの方の親子連れでにぎわった滋賀予選は左記の4名が全国大会への権利を手に入れました。

大人の部	優勝	服部 生史さん
	準優勝	藤高 高広さん
小人の部	優勝	大野 葉月さん
	準優勝	森本 美波さん

滋賀県代表、全国大会で大健闘!

昨年8月22日に奈良県大和郡山田市で行われた全国金魚すくい大会は、出場選手数1,951人と大勢の参加者で賑わいました。その中に滋賀予選を勝ち抜いた右記の計4名が滋賀県代表として参加されました。

滋賀予選で大人の部・優勝の服部生史さんは16匹、準優勝の藤高広さんは9匹すくいあげ、そろって準決勝進出という見事な結果を残しました。

滋賀予選で小中学生の部・優勝の大野葉月さんからは、家族とも、楽しませていただきました」というお手紙をいただきました。

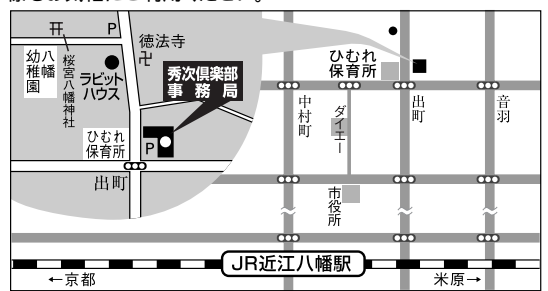


また準優勝の森本美波さんのお母様からも、家で金魚を買って練習し大会に備えましたが、残念な結果に終わりました。でも貴重な体験ができて夏休みの良い思い出となりました。」と、報告をいただきました。

また今年も近江八幡で滋賀予選を行う予定です。昨年参加された方も、されなかつた方も是非チャレンジしてみてください。

秀次倶楽部 / 事務局

NPO法人化に伴い事務局を新設しました。ここから、まちづくりや文化、歴史について情報を発信していきたいと考えています。地域のコミュニティスペースとして、各種会議・会合に皆様もお気軽にご利用ください。



会員募集 正会員 賛助会員 団体会員
入会を希望される方は事務局までご連絡ください

〒523-0892 滋賀県近江八幡市出町131 天八シガ1階
TEL.0748(32)1985 FAX.0748(32)3514(ラビットハウス内)

本年も皆様に愛される味をお届けいたします。

ただいま「新年会」予約受付中
2005年は1月2日から営業いたします。

本店:近江八幡市東川町866-1 TEL.0748-37-4325
長浜黒壁店:長浜市元浜町11-27 TEL.0749-62-6115

<http://www.oumi-usi.co.jp>



<http://www.taneya.co.jp/> 【本店】近江八幡市中村町22番13号 TEL.0748(33)1151

近江八幡の奥座敷

円山古道と津田の細江と長命寺港

年の瀬も近く、すっかり冬の色を濃くした円山古道を抱えた水郷地帯。吹き抜けてゆく木枯らしの音もわびしく、一年間の様々な四季の思い出も新しい年を迎える準備に入っているようだ。

円山町を通り白土王の浜の小さな町中を過ぎ、秋に実をむすび、無病息災の珍菓として毎年禁裏へ献上される「むべ」の自生地もこの辺り、若宮神社の前を通り、天台宗の国清寺を右手に延光院に至る。境内には市指定の宝塔があり、美しくまとまった姿を止め一見に値する。この一帯は、奥島といわれて、市内の一番北に位置する正に市の奥座敷に当たる所。村はずれの地蔵堂には、かつて神社の別当僧の庵があったとされたところ。県指定の木造りの地蔵菩薩立像(平安期)が祭られてあり、神仏集合の名残りがしのばれる。また、境内を接する若宮神社にも南北朝時代の懸佛が数面残されており、その色を濃くしている。

この円山古道の帯は奥島山がその大部分を占め、和歌の中にはおきつ島山と呼び名されている。柿本人麿曰は

あふみの海 おきつ島山 おくまけて
我思ふ妹が 一とつげけし

と詠んでいる。また、「二」に鎮座されている大島奥津島神社は、大島主命・奥津島比売命と、延喜式新名帳にその命を残している。御祭神の木造大島主尊座像は国の指定を受けており、その他、螺鈿鞍・黒漆鞍・大島奥津島神社文書等々、数多くの重要文化財を有し、近江八幡市での奥



天之御中主尊神社

座敷にたたくむ宝庫である。また、境内近く専称寺(浄土宗)には、国指定木造阿彌陀如来立像(平安期)が祭られている。

この辺りから円山古道は津田の細江へ入っていく。八幡山と長命寺山間にある湿地帯の入り江は津田の細江とも呼ばれ、西の湖から長命寺川となり外湖へと続くのである。この津田と呼び名される地は織田信長の先祖とのつながりを持ち、信長はその織田氏親実の十四世の孫とされた。

また、この北津田町の山腹にある阿彌陀寺は、臨濟宗の古寺であるが、その境内より眺める景色は津田の細江を眼下にし、よし地のつながりが大中の湖より長命寺港にまで細長く見られる。正に幅の画である。

鎌倉期から地名を残す中之庄は、村中を通る小さな古道にかつての漁村であった名残りをよくよくにしてその一端を知ることが出来る。村はずれの道は全く現代とかけ離れ、歩行しかその道をたどることはできず、それだけに木々の間をのめる陽の光が美しく、こけむす道、全く車のわだちもない正に歩く道が約一キロメートルほど続く。また、古道としての面影がしのばれる。かさかさとした落葉を踏みしめ、やがて天之御中主尊神社前に入る。

ここから新しい湖周道路に入り、間もなく長命寺町へと入る。

ここまでくると津田の細江は影をひそめ前方はひろびろとした琵琶湖の外湖へと続く。その港町には西国三十一番の札所として全国に信者を誇る長命寺がある。港近く、長命寺の塔中とする穀屋寺があり、坂本の日吉の神を勧請して祭る日吉神社があり、長命寺の十九坊の一であった妙覚寺、真静院が近くに墓を並べている。

八千とせや 柳に長き命寺

はこぶ歩みの かざしなるらん

の御詠歌にひかれつつ、八百八段の階段を登りつゝ、長命寺本堂に至る。

さすが近江八幡最大の重要文化財の宝庫であり、名実共に誇りつゝ存在である。

円山古道から、津田の細江そして長命寺港へと続いているこの近江八幡の奥座敷は正に四季にふれてそれぞれに楽しむことのできるコースである。

(近江八幡市立資料館長 江南 洋)



善正寺・日秀次供養墓前にて



瑞泉寺にて

秀次公ゆかりの寺巡り

善正寺・瑞泉寺・嵯峨村雲別院を訪ねて



嵯峨村雲別院・秀次墓前にて

良い日和に恵まれ、12月11日(土)京都へ向かった。参加者は10名であったが、それぞれのお寺でご住職と大変意義深いお話ができ、終盤の紅葉を眺めながら、善正寺・瑞泉寺・嵯峨村雲別院と巡った。午前に岡崎にある日蓮宗善正寺の西村住職を訪ねた。秀次公の母「とも」日秀尼公が東山に1600年に建立している。秀次供養墓をお参りさせていただき、ご住職のご案内でお堂を見させていただきお話をうかがった。

午後からは河原町三条にある浄土宗瑞泉寺を訪ねた。近江八幡ではご朱印船で知られている角倉了以が建立したお寺である。中川ご住職から、未だ謎の多い秀次失脚後の話がうかがえ、市民として熱い気持ちにさせられたひとときであった。日暮れがかりに急ぎ足で嵯峨村雲別院を訪ね、お墓参りをした。あいにく井原浄観ご門跡はご静養中でしたが、本堂でお経を上げていただき、感謝して帰宅の路についた。

新しい八幡名物 葎うどん

NPO法人秀次倶楽部では、かねてより研究開発してまいりました「葎うどん」を、昨年ようやく発表することができました。発表から今日に至るまで地元のお客様をはじめ、多くの観光客の方にも召し上がっていただきました。葎うどんを召し上がったお客様からは、まさか、葎がこんな形で食べられるなんて思わなかった!という驚きの声や、コシがあり緑の色が新緑の風情を思わせる、など様々なご意見ご感想をいただくことができました。

また、水郷の風物詩として古くから人々の生活に溶け込んでいた葎には、琵琶湖の水を浄化するという素晴らしい作用もあります。

さわやかなグリーンと素朴な味わいで郷愁を誘う葎うどんが、今後、近江八幡の新しい名物のひとつになり、口にしてくださった方が琵琶湖や西の湖を感じて、もう一度水環境のことを考えてくだされば幸いです。葎の商品が、環境を考えるひとつのきっかけとして役立てば、会員一同大変喜ばしいことです。

秀次倶楽部の活動に関わる中で、葎うどんを通して多くの方々と葎にまつわる話ができ、市民の皆様と触れ合えたことは、私にとっても秀次倶楽部にとっても大変良かったと思います。

2004年11月の農業祭にて「葎うどん」を販売しました。

中山道武佐宿と千僧供古墳の里めぐり

【開催日】平成17年 1月22日(土) ※小雨決行
【受付場所・集合場所】<JR琵琶湖線>近江八幡駅 南口
【集合時間】10:10 集合 10:20 出発
【行程】JR近江八幡駅南口→若宮神社「金剛寺の湧水」→武佐宿「本陣跡、伊庭貞剛宅跡」→長光寺城跡・不二の滝・冷泉寺・馬見岡神社→古墳めぐり「トグス塚古墳・住蓮坊古墳・石工の里・椿神社・供養塚古墳」→近江八幡駅南口
【距離】約12Km
【解散】14:00頃 <JR琵琶湖線>近江八幡駅 解散
【参加費用】500円(保険、お土産付き。当日徴収)
【問合せ先】下記(社)近江八幡観光物産協会
月～土曜日にお電話で、お申込みください。受付は1月15日(土)までです。

(社)近江八幡観光物産協会
近江八幡市為心町元9(白雲館内)
TEL.0748-32-7003
http://www1.ocn.ne.jp/~omi8/

近江八幡のこだわりの店
かわらミュージアム内喫茶
1/1より営業いたします
喫茶「瓦亭」は地場産品にて工夫を凝らし、窓からは白壁の土蔵群と八幡堀の風景が見え、時には時代劇の撮影を見かける事も…。香り高いコーヒーや、女性に人気の抹茶ミルクなどメニューは30種類以上。近江米と近江牛を贅沢に使用したビーフカレーや、季節ごとの特別メニューもあります。ぜひご利用ください。

ギャラリースペース 新町浜 作品展
“布、土、糸、紙、木、硝子…”素材の競演。
入場無料
とき 2005. 1/7 (fri) ~ 11 (tue)
am 10:00 ~ pm 5:00 (最終日は pm 4:00 まで)
ところ 白雲館 2階 観光案内所 (白雲館八幡宮 鳥居前)
近江八幡市為心町元9 TEL.0748-32-7003
年始は 6日 から営業いたします。
(有)ほのぼの館 | ギャラリースペース 新町浜
〒523-0837 滋賀県近江八幡市大杉町30番地1
TEL.(0748)36-5115 FAX.(0748)31-3656
【E-mail】info@shinmachihama.com
【URL】http://www.shinmachihama.com
【営業時間】平日/10:00~16:00
土日祝/10:00~17:00
【定休日】水曜
プランニング・デザイン・プロデュース/お問い合わせ先
(有)ラビットハウス TEL.0748-33-2914